

アイ・エイチ・ジェイ株式会社



鹿児島県 情報通信業(通信業)

経営者の声

代表取締役

高岡 和也さん



当社は情報通信業の中で営業を専門にしている非常に若い会社です。設立は2007年12月。平均年齢は28歳。そのような中で障害者雇用と言っても、当初はあまり理解が進んでいなかったのですが、先進的な会社の雇用事例などを見て、障害者雇用はポジティブなもので、会社にとってプラスになると考えるようになりました。

実際、障害者雇用を進めたことで、社内の雰囲気が良い方向に変わりました。まず、お互いに気を遣うことができるようになりました。具体的には、声が大きく元気な社員が多い中で、障害のある社員に向けての電話の口調や声の大きさなど、本人にとってどこからがプレッシャーになるのか、どこまでなら大丈夫かを考えるようになり、どう接していけばいいのかが徐々に分かるようになりました。

障害者雇用をネガティブとせず、本人の能力を発揮できるようにしていくことが大切だと思っています。時には「良くできたね!」と本人に伝え「自分が会社の役に立っている」と実感してもらうことが大切だと思っています。会社でどう活躍してもらうことができるか、ターゲットを絞っていくことが重要だと考えています。

職務内容と工夫

1

体調のすぐれない時期は9:00～15:00の時短勤務にして対応。本人が一番パフォーマンスを発揮できるようフレキシブルに対応している



Yさんはホームページのコンテンツ更新、本社や支社のパソコン等の機器管理、会社新聞「アイ・エイチ・ジェイ“プラス”」の原案の作成等、管理本部の幅広い事務を担当している。納期が厳しくなく、マイペースでできる。勤務時間について当初、ハローワークへの求人は10:00～17:00だったが、朝礼に参加したいという本人の希望に沿って9:00～16:00に変更。体調がすぐれない時には15:00までの時短勤務にするなど、働きやすい環境を整えている。

2

週1回のミーティング。マンツーマンで話を聞いて本人の不安を軽減

毎週金曜日、現場担当の課長がYさんからマンツーマンで30分～1時間話を聞いている。本人が聞いてほしい部分をこのミーティングで引き出すことができる。次週の仕事の進め方、体調、薬の効き具合、プライベートも含め、Yさんは課長に細かく話している。

ポイント

- ① 障害者雇用で社内の雰囲気良くなった
- ② 指導担当者を障害のある社員の隣の座席に配置して頻繁にコミュニケーション

3

座席の 配慮



Yさんが安心できるよう、Yさんの座席は現場担当の課長や課長代理の近くに配置。

「隣に座っているので、本人が仕事に手が止まっていたり、手が震えていたりすると、状況を見て声をかけるようにしています。席が近いので、本人の体調は見ればわかります。」(写真は現場担当者 小畑 実津子課長)

雇用管理担当者の声



取締役管理本部長
島田 正弘さん

障害者雇用に当たっては、担当業務を本人の秀でている分野に特化し、適切な指示をすれば良い成果が出ると考えています。

指示に当たっては、「あれやっておいて」「あれどうなった?」といった曖昧な言葉は

控えていますが、それは他の社員に対しても同じことです。

Yさんは自己表現が苦手ですが、能力が高く、よく仕事してくれるので会社としては本当に助かっています。

従業員の声

勤続3年目
Yさん

月に1回、地域障害者職業センターの方やハローワークの方が面会してくれます。この面会では、入社前から自分のことを知ってくれている方々が、入社後の自分の状況を見てくれるので不安がやわらぎます。

周囲の方々には本当によくしていただいています。

会社は仕事を任せてくれるので、もっと質を上げて今後もこの仕事を続けていきたいと思っています。

活用した制度

精神障害者雇用トータルサポーター、
ジョブコーチ支援

活用した 支援機関

ハローワーク、
地域障害者職業センター

労働条件等：1日6時間、週5日間勤務、正社員

法人データ



アイ・エイチ・ジェイ株式会社

- 所在地…………… 鹿児島県鹿児島市
- 従業員数…………… 171人
- 障害者雇用者数… 2人
- 障害種別…………… 精神障害、身体障害
- 事業内容…………… OA機器販売事業、移動体通信事業、法人向け携帯電話販売事業、携帯電話ショップの運営

